

いなみ町

議会だより

No.53
2012.4

3月定例議会

- | | |
|--------------------|---------|
| 24年度当初予算と議案審議 | P2～P4 |
| 一般質問「ここが聞きたい」6人が登壇 | P5～P10 |
| 常任委員会と特別活動報告 | P11～P13 |
| 作業所 陽の紹介・あとかき | P14 |

平成 24 年度一般会計予算

総額 43 億 4,017 万 7 千円

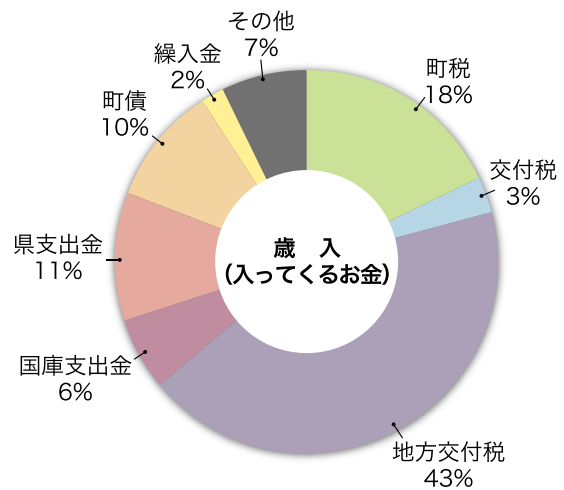
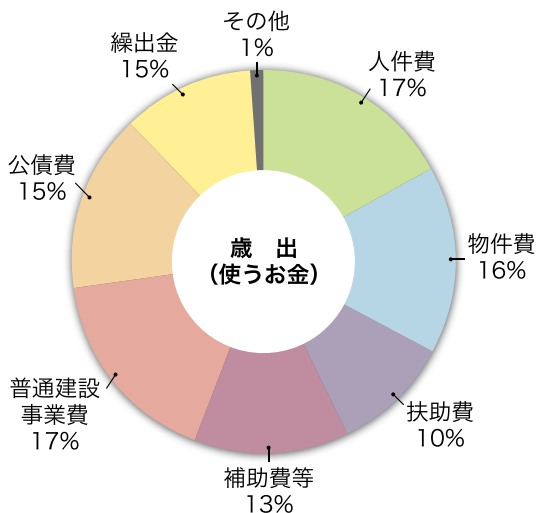
3月定例議会は3月7日から21日まで開かれました。
平成24年度の予算を中心に29議案等を審議しました。2議案を否決し、27議案を原案どおり可決しました。

支出の主なもの

- ◎普通建設事業費(地籍調査、辺地対策事業など)
7億3,425万円
- ◎人件費(職員の給与など)
7億5,519万円
- ◎物件費(施設の維持管理費など)
6億8,476万円
- ◎公債費(借金の返済など)
6億6,200万円

収入の主なもの

- ◎町税(皆さんに収めていただく税金)
7億9,754万円
- ◎地方交付税(国から町へ交付されるお金)
18億5,000万円
- ◎国庫支出金(国からの補助金)
2億5,862万円
- ◎県支出金(県からの補助金)
4億7,999万円
- ◎町債(町の借入金)
4億3,570万円



会計別当初予算の総額 **74** 億円

会計名	予算額	前年度比	採決の状況	
一般会計予算	43 億 4,017 万 7 千円	90.26%	全員賛成で可決	
特別会計	国保	12 億 5,453 万 9 千円	99.33%	全員賛成で可決
	後期高齢	2 億 2,505 万 5 千円	104.80%	反対1・賛成9
	介護	9 億 8,117 万 3 千円	107.43%	全員賛成で可決
	印南町水道	5 億 0,660 万 0 千円	71.78%	全員賛成で可決
	滝ノ岡水道	1,136 万 2 千円	8.97%	全員賛成で可決
	農業集落	7,295 万 8 千円	96.67%	全員賛成で可決
	同和対策	622 万 8 千円	75.51%	全員賛成で可決
	宅地造成	1,468 万 4 千円	7.93%	全員賛成で可決
	合計	30 億 7,259 万 9 千円	87.98%	
総合計	74 億 1,277 万 6 千円			

平成二十四年度 一般会計予算に 対する質疑

Q

防災に関する予算で
自主防災組織支援補助
金として三百七十七万
円の計上がされています。
自主防災組織の設立状
況とこの金額について
の説明を求めます。

A (総務課長)

現在31区で47団体が
設立されており、既存
団体には基本額として
三万円、一世帯あたり
三百円を加算する算定
です。

Q

清掃費の中に御坊広
域清掃センター運営負
担金約一億一千万円が
計上されていますが、
東日本大震災の瓦礫^{がれき}
の受け入れなどの検討は
出ていますか。

A (生活環境課長)

現在は受け入れとい

うことにはなっていま
せん。

Q

水産業に関する予算
に印南漁港機能保全計
画作成委託料として一
千七百四十万円とあり
ますが、この内容の説
明を求めます。

A (建設課長)

印南漁港の施設とし
て防波堤や防潮堤など
39の施設があります。が、
老朽化が進み取りまと
めて委託するものです。

Q

農業関連の予算に野
菜花き産地強化事業へ
の補助金として四百万
円、営農再開緊急支援
事業への補助金として
六百九十九万三千円の
予算が付けられています
が、それぞれのよ

うな事業をするので
か。

A (産業課長)

前者は資材の半額の
補助をするもので、57
a、ハウス5棟を計画
しています。

後者は昨年の台風12
号で被災した農家の再
開費用です。

Q

地域振興費として印
南ゴルフコンペの助成
金百万円が計上されて
います。

コンペ参加者が年々
減少傾向となる中で、
町としてもつとPRを
するべきではないで
しょうか。

A (産業課長)

商工会などで方向性
を決めていただき、ゴ
ルフ場自身に町の助成
金で盛り上げていただ
くことが大切です。

Q

幼児対策費の中に学

童保育の指導員賃金と
して二百六十二万五千

円が計上されています
が、現在の学童保育人
数と指導員の人数はど
うなっていますか。

A (教育課長)

現在は6名の児童と
4名の指導員です。
平成24年度の申し込
みでは、19名の児童が
受付されています。



Q

交通安全対策費の中
に原材料費としてカー
ブミラー購入費として
百五十二万五千円の予
算を付けていますが、
曇るカーブミラーがあ
り、安全ではありません
か。材質等はどう対応

されますか。

A (総務課長)

支柱等の強化も含め、
ステンレス製材質の
カーブミラーを予定し
ています。

Q

企画費に一般コミュ
ニティ助成事業負担金
として二百五十万円が
計上されていますが、
内容の説明を求めます。

A (総務課長)

町内の区に対して支
給するもので、白河地
区の祭具新規購入に充
てる二百五十万円の費
用助成です。



介護保険料を値上げするための条例（町の決まり）を変更する議案

「やせ」と国へ訴えを。
A（町長） 各市町の負担が少なくなるように国にも訴えてゆきます。

Q

今後3年間の65歳以上の介護保険料が大きく値上げされる状況ですが、保険料の値上げを抑えるために行政側はどのような対策や手立てを取りましたか。

A（総務課長）

平成23年度一般会計から介護保険事業へ三千万、地域支援事業の財源補填として繰り出しを図りました。

Q

介護保険料が3年ごとに値上げとなるのは、国が負担を減らしているからです。郡内の市町村も共通して値上げ傾向となっている状況から「市町村会」を通じ「国の負担を増

印南町分課設置条例の一部改正について【否決】

役場内の各課（総務課や建設課など6課があります）の仕事内容や担当部署を変更するための議案です。

Q

今回の改正でどのようなになるのですか。

A

総務課より、企画財政部門を分課し、秘書政策室と合わせて企画財政課をつくるものです。そして建設課で行っている町営住宅に関する事は、今後総務課で行う予定です。

反対討論

町長の行政方針が明

確に示されていない中で分課設置に関する条例を改正しようとしています。町長からの意向も示されていないもとの分課設置条例の一部改正には反対です。

賛成討論

今後、国や県の仕事が増える中、自治体の体質強化が求められます。町財政のやりくりや企業の誘致など強化するための分課設置条例の一部改正には賛成です。

採決 6対5でこの議案を否決しました。

町長の給与の特例に関する条例【否決】

町長の給与のみを減給するために条例を改正する議案です。

Q

町長の報酬を4年間に限り10%カットする

議案ですが、特別職給与審議会にはかるべきではないですか。

A

審議会は今現在作られていません。審議会を開くことを考えていますが、時間が掛かりすぎることもあり、特例として4年間だけ10%減額とするものです。

反対討論

条例に定められた手順を踏んで対応すべきです。町長が「住民目線」で行政を進めるといっているのであれば、「特別職給与審議会」にはかり意見を聞くべきです。この議案には反対です。

賛成討論

今の厳しい社会情勢の中で民間、公務員ともに給与カットの現状のもと、町長も痛みをともにすることは、間違いではないと考えますのでこの議案には賛成です。

採決 6対5でこの議案を否決しました。

その他主な議案

- ◎印南町防災会議条例の一部改正について
- ◎印南町税条例の一部改正について
- ◎印南町営住宅管理条例の一部改正について
- ◎印南町黒潮フルーツライン区域農用地総合整備事業償還準備基金条例の廃止について
- ◎消防団員等公務災害補償条例の一部改正について
- ◎御坊市外五ヶ町病院経営事務組合の共同処理する事務及び規約の変更について
- ◎辺地総合整備計画について



榎本 一平 議員

学校給食の民間委託 計画の認識を問う 「学校現場や保護者からは民間委託の 声は上がっていない」

質問 町長が替わったので、町長の政治姿勢として学校給食の民間委託についてどの様な認識を持っていますか。この計画を進めて行く、という立場ですか。

運営」を強調しています。学校現場、保護者からは「民間へ移行して欲しい」との声は一切出ていません。この現状を大切にして欲しい。

答弁 町長 議論を重ね、結論を出します。

答弁 町長 「行政のスリム化」として検討が必要ですが、教育委員会、学校現場で検討いただき慎重に議論し結論を出したい。

質問 「行政の効率化」を進めるために、子ども達の学校給食に民間委託を持ち込むべきではありません。

町長は政治姿勢として「住民目線にたった行政



防災対策の強化を 「災害から町民の命を守る対策をどの様に進めるか」

質問 地震がおり、津波が発生すれば、何よりも命を守る事が最優先されます。

印南、切目両地区の自主防災組織での避難道の設定はきちんと行われていますか。

避難時に支援が必要な人（要援護者）の人数や現状は把握していますか。

県は、平成24年度から「災害時要援護者支援事業」を計画し、各市町村が取り組める様に予算を計上する予定ですが、印南町はこの事業を活用する計画はありますか。

いますが、

昨年3月

11日の大

震災によ

り被害想

定の見直

し等が議

論されて

います。

再度、

ワーク

ショップ

を行い避

難路、避難場所の見直しを図りたい。

平成24年度に、町自主

防災組織の取り組みを

計画しています。

答弁 住民福祉課長

現在、印南町には248名の方が「要援護者」として登録されています。

県の「災害時要援護者支援事業」の活用につ

いては、自主防災組織や社会福祉協議会などからの意見を元に、必要とあれば今後対応してゆく事も考えています。





一 般 質 問

町長の五つの思いマニフェストについて

藤 越 利 広 議 員

① 産業の振興について

質問 町長は、マニフェストの中で、印南町の農産物のブランド化を考えたいくと、言われていますが、どのような作物、方法を考えていますか。

答 弁

町長 行政のほうから、この品物をつくってくださいうことは考えていません。

質問 漁業者の後継者を、増やす為の方策について。

答 弁

町長 作り育てる漁業、投石や、磯釣り・船釣り、観光面も視野に入れ、観光漁業の推進により、経営の安定化、複合化に取り組みます。

② 福祉の充実

質問 福祉の充実とは、高齢者にスポーツなどを取り入れ、健康維持や生きがいづくりの対策とありますが、どのようなことを考えていますか。

答 弁

町長 高齢者が参加しやすい環境づくりに取り組めます。

③ 防災の町づくり

質問 沿岸の防波堤の見直し強化とはどのようなことを考えていますか。

答 弁

町長 国、県と連携しながら本町の防波堤の見直し、強化を図っていきま

質 問

消防設備の増強

とは。

答 弁

町長 消火水利の確保、消火栓の増設を図っていきます。

④ 教育の充実

質問 IT社会に対応できるさらなる条件の整備とは。

答 弁

町長 iPadなどを取り入れます。

質問 さらなる学力の向上のための教育とは。

答 弁

町長 私の所信表明の中にもありますが、子どもたちが、この印南町で育ち、やがて、印南町を支え、創っていつてもらうことが私の願いであり、ふる

さとが人を育み、人がふるさとを創る。これこそが私の理想とする地域社会であります。(赤字は、千葉県東庄町の町長の所信からの引用)。

その様なことは考えていますか。

答 弁

町長 住民のコンセンサスを果たうえで、慎重に議論を積み重ねます。

⑤ 庁舎凍結について

質問 後悔、誤りはないと考えますか。また、噂では、上野山に立つのではとの話が飛び交っています。

また場所、時期等については、住民の合意形成を考えて取り組みます。早急に仮称であります。建設検討委員会を設立します。





質問

当初、平成25年度で建設し、平成26年度で移転という計画であったが、東日本大震災の教訓から、計画の1年前倒しを決断することで、平成23年度緊急防災・減災事業の採択を得ることが可能であったのにこの機を逃しては、今後の事業確保は大変困難となります。

町長の選挙中の公約として、移転凍結を公表されましたが、この凍結は平成23年度緊急防災・減災事業8億4千万円が、損失したといっても過言ではないと思います。

答弁 町長

新庁舎計画は100

① 庁舎移転の凍結について



予定されていた新庁舎完成図

年の大計を見据えた大事業であり、ハード整備だけでなく行政サービスのあり方についても考えて検討し、そのことを踏まえた上で新庁舎の位置の決定に当たっては、住民のコンセンサスを得た上で、慎重に議論を積み上げていく事が肝要であると考えております。

② 防災対策について

質問

東海・東南海・南海の連動地震では、日高郡へは10m以上の大津波が到来するという事ですが、どのような防波堤・避難道を考えているのかお聞きします。

答弁 町長

防波堤につきましては、地方防災会議の検討結果を踏まえ、国・県と連携しながら、本町の防波堤の見直し、強化を図ってまいります。避難道につきましても、再度ワークショップを実施し、避難道及び避難場所の見直しを行いたいと考えております。

「所感」

最後に住民の安心・安全の確保が重要であり、実現可能な事業は、積極的に進めていく必要があると思います。

県内、他の町でも早急に前倒しで防災対策において、庁舎高台移転の決断・事業の変更等

を検討しているところですが。

今後、町長という責任のある立場としての決断が、大きく問われると思いますので、その点しっかりと町民目線で進めていただきたいと思います。



堀口 晴生 議員



一般質問

新庁舎移転凍結は財政の損失！

西山 徹議員

「行財政改革について」

質問

効率的な行財政運営を目指すとともに、メリハリのある予算執行という公約についてですが、新庁舎凍結は国の事業を無駄にしただけでなく、基金の他事業への活用が出来なくなるなど、8億円という大きな財源を失う結果となった。

庁舎凍結についても、効率的な行財政運営と言われるのですか。

答弁 町長

新庁舎の決定に当たっては住民のコンセンサスを得た上で慎重に議論を積み上げていく考えであります。

質問

行財政改革として、凍結するという町長の判断が、どれだけの影



現庁舎

響を与えるのかがわかっているのか。凍結すれば、現庁舎の耐震補強・防災無線の操作卓の整備・無停電装置の確保などお金がかかりますし、基金を介護保険に回すことが出来ないなど、町民に負担をかけることになるのではないか。

答弁 町長

庁舎移転問題は、基金を使って庁舎を建てるんだと私は思っています。

「産業の振興について」

質問

農産物のブランド化・農業の高度化を図り、収入アップにつながる農業の確立を目指す。とありますが、どのような考えなのか。

答弁 町長

新たな栽培作物に取り組む営農グループなど支援していきます。

質問

今、印南町の農業に何が問題か。そのための対策をどのように考えているのか。

答弁 町長

十分関係機関と協



議した中で考えていきます。

質問

町長としての農業施策としては、これをしますという思いがないと言うことですか。

答弁 町長

十分に関係機関と協議しながら取り組んでいきたい。





質問

庁舎新築移転費用（かえるの里町有地に平成24年着工、25年5月連休を目処に業務開始の予定でありました。）11億円のうち8億円が平成23年度 国の緊急防災・減災事業債を活用することができたため、町負担約3億円で庁舎建設が出来るはずでした。従って庁舎新築に充てていた公共施設等整備基金約4億円は、他の事業に充当することができました。例えば介護保険料は、4月から3873円から1410円引き上げ5283円となりますが、ここに活用すれば5千円以内に抑えられます。

で、町にとって非常に有利な選択が出来るはずでしたが、町長の無責任な「凍結」の一言で有利な活用が出来なくなりました。

庁舎移転は、昨年3月議会で庁舎移転の話があり、6月議会で設計費五千万円が議決されました。委員会では4回の説明を受けました。町長もその当時は議員で説明も受けられています。何のための委員会、何のための議会だったのでしょうか。今回の判断こそ議会軽視ではないでしょうか。

答弁 町長

終始手続き論ばかりで、明確な答弁に至りません。

地方地区の浸水対策について

質問

平成21年3月、実施機関・和歌山県が委託費用200万円をかけて河川関連の調査を行いました。調査目的は印南地区の内水浸水の発生原因及び対策の基礎資料作成です。調査結果は内水の発生原因は印南川の河川水位は内水地より高くなっており、自然排水が行えない状況が発生したと考えられます。また、浸水原因については印南川への排水の影響と、水路の流下能力不足により、水路の施設超水が起きていると考えられるとし、対策については、排水ポンプの整備等、幾つかの

案を検討したが現実的な対応については非常に難しいという結果が出ています。この話は地元でもされています。

また、ポンプについては昨年2台から4台に増やすと同時に消防団の出勤もお願いして対応しています。これ以上のことをすると聞いていますが、具体的に何をしたいとお考えでしょうか。

答弁 町長

印南川の流下能力が小さいことに加え、この地区はもともと低地である農地が浸水時に貯留機能を果たしてきたことが、現在は宅地化が進み、この能力が著しく低下してきたことが大きな原因であると考えております。具体策はなし。

庁舎高台移転「凍結」による8億円損失の真意は？

岡本 庄三議員





ここが聞きたい 一般質問

「中学校武道必修化」実施を問う。

井上 孝夫 議員

4月より中学校の学習指導要領が、全面実施されることになりました。

保健体育で、男女ともに武道が必修化となり、柔道、剣道、相撲の中から学校で選択し実施されることになりました。

主催の講習会にて受講しています。

武道の学習時間数は。

各学校、各学年とも年間10時間前後です。

柔道固有の事故の、安全面への対策は。

れも有段者が指導に当たり、さらに町支援者も授業に入り、3人体制で授業中の指導の死角をなくし、万全を期しております。

「福祉の充実」について

障害者の社会参加・自立支援について。

町長

町内関係団体でつくる協議会の立ち上げや福祉祭りの開催を計画し、障害のある人もない人もともに地域で生活し、地域活動に参加できるような地域づくりを進めていきたいと考えています。



町内における障害者の現状（社会参加・障害者手帳所持者数）を問うが、現状把握すらできておらず、明瞭な回答が得られませんでした。

一人住まいの高齢者対策「安心の連絡網」について。

町長

民生委員さんや自主防災会の方々が共有している要支援者となる方の情報を密にすることで見守りの強化をしてゆきたいと考えています。

今回の町長の所信表明が、千葉県東庄町（とうのしょうまち）岩田利雄町長の所信表明に酷似していることに関して、今後、愛する故郷いみなに向け自らの考えを自らの言葉で語り、政策実行で多くの信託に応えていただきたいと思います。



委員会活動報告

「総務産建常任委員会」

平成24年2月14日、午前10時から役場3階会議室にて総務課から防災対策について説明をうけました。

① 印南町が近年に実施した防災対策

① 家具転倒防止事業

（平成22～23年度）
② デジタル放送行政無線整備（平成21年～23年）

③ 自主防災会設立推進（平成22年） 31/33

④ 自主防災会連絡協議会設立（平成23年）

⑤ 津波図上訓練実施（平成23年度） 11月

⑥ 海拔表示板の増設

（23年度）
⑦ 標高マップの作成

今後の防災対策事業

① 県費補助として、きのくに

パワーアップ補助金（1/2）

家具転倒防止・ブロック

塀耐震化・地域防災拠点整備等

② 起債事業として、緊急防災・減災事業がある（100%借入、交付金70%充当）

防災拠点施設・避難路・拠点避難地・公共施設の耐震化等

（委員長所見）

（委員長所見）

過去の津波において、1707年の宝永地震では196名の死者がでていますが、高台へ避難することが言い伝えられた結果、1854年の安政の地震では死者は0人でした。しかしながら1946年の南海地震では、逃げ遅れにより17名の死者をだしています。過去の教訓から、大きな地震が発生すれば、避難勧告・指示が出なくても必ず高台へ避難する。これが死者を出さない最大の対策と考えられます。また今後、自主防災会の強化を図るため、防災5ヶ年計画を予定しています。各自主防災会での毎年違った内容で避難訓練等実施できたらと考えています。住民の積極的な参加をお願いいたします。

「文教厚生常任委員会」

「下水道事業について」

環境保全事業として、適正な下水処理対策として印南町は公共下水道事業、合併浄化槽整備事業、農業集落排水事業等の方針で進めていきます。

町の整備処理率は36%、県内30町村中22位、全国比率は86%。町内事業では、農業集落排水事業で山口、古井、宮ノ前地区で事業実施供用が開始されています。

合併浄化槽事業は、年間30～40基前後で推移、現在800件を超えています。

また、合併的整備では共同事業で、立石地区で実施されています。

公共下水道事業では、印南・切目で計画策案中です。

集落排水では、人口



古屋 宮ノ前農業集落排水

及び家族の減少、高齢化による加入者減少、維持管理の負担と使用料等々の問題があります。

また、合併浄化事業では密集地域の、槽の設置用地問題を含め地区住民と協議し、集落排水、合併浄化槽整備事業推進に努め、環境保全の推進を図ります。



印南川

(委員長所見)

浄化槽整備事業に取り組んだ山口地区印南川の水質環境が大きく改善されてきています。



「議会政策研究特別委員会」

平成24年2月10日、役場3階会議室にて、印南町新庁舎の建築設計業務の現在の状況について、総務課から説明を受けました。

① 基本設計・実施設計の取り扱いについて

契約金額3990万円
で株式会社大建設が実施しています。
業務は契約どおり履行し、各種許可のうち建築確認申請は未了となります。

② 社会資本整備総合交付金の見送り

庁舎移転事業の凍結で、国の3次補正の緊急防災・減災事業債を見送ることになりました。

③ 今後の課題

庁舎移転が凍結されれば、業務継続計画の策定が必要であり、現庁舎の耐震補強・バリアフリー化

(委員長所見)

庁舎凍結のことについて、本当に残念な結果になったと思っています。今後、我々議員一人一人がしっかりした気持ちをもって、住民に対して、きちっと説明できるような体制づくりをしていきたい。



をどうするのか、また災害時の代替え施設の確保として、防災無線操作卓の整備・無停電装置等の機能確保等が課題となります。

「議会だより」アンケートの結果について

議会広報特別委員会の「議会だより」アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。ありがとうございました。今後の議会活動や「議会だより」製作の参考といたします。

23人の町民の方から解答がありました。アンケートに寄せられた特徴などを報告させていただきます。

【特徴点】

① 年4回の定例議会後に「議会だより」を発行しています。23人中21人から「毎回読んでいます」との解答をいただきました。

広報委員会では「議会だより」の編集委員会を3回開き、

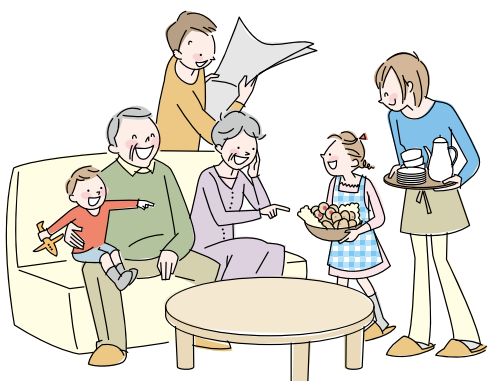
「議会だより」を作成しています。今後とも多くの町民のみなさんに「議会だより」を開いて見ていただけるように努力してまいります。

② アンケートでは、圧倒的に各議員の一般質問の内容について注目をしているとのこと。

町議の最も重要な仕事である「町民の声を町政に届ける」仕事である一般質問に対し、関心の高さがうかがわれます。

③ 議会に対しての要望として、議員が町民としっかり対話して、議会で「民意を反映して欲しい」

、「議会としてのチェック機能を果たして欲しい」などの意見が寄せられました。町議の重要な役割である行政運営のチェック機能を果たすことが求められています。



事務局職員人事異動（4月1日付）

● 事務局長（総務課長）

山本 雅一

● 事務局主任（秘書政策室係長）

杉本 ふみよ

町長部局出向

● 秘書政策室長（事務局長）

岡本 晃一

● 産業課商工観光係長（事務局主任）

榎本 文子

※（ ）については旧職名
岡本、榎本両氏についてはお疲れ様でした。
また、新局長、主任の山本、杉本両氏についてはよろしく申し上げます。



多機能型事業所 作業所

はる
陽



事業種別

多機能型事業所（生活介護・就労継続支援B型）

「生活介護」

個別支援計画に基づき、利用者の方ひとり一人の嗜好や適正に応じた日中活動を通じて、日々の生活に一定のリズムと潤いを提供します。

・生産活動

軽作業として、内職作業への取り組み。

・その他の活動

アート（絵・音楽）活動・リズム体操・散歩・余暇支援・地域行事参加等の取り組み。

「就労継続B型」

個別支援計画に基づき、



開所日・時間

月曜日～金曜日
但し、土曜日、日曜日を含めて事業を実施することもあります。
9時～17時30分

送迎

あり

利用対象者・利用定員

障害者・生活介護10名
就労継続支援B型10名

あてがき

今議会は多くの方の傍聴がありました。
今後とも町議会の活性化と分かりやすい情報提供に努めます。

議会広報特別委員会

委員長 杉谷 考祥
副委員長 榎本 一平
委員 村上 誠八
井上 孝夫
藤薮 利徹
西山

事業種別

多機能型事業所（生活介護・就労継続支援B型）

「生活介護」

個別支援計画に基づき、利用者の方ひとり一人の嗜好や適正に応じた日中活動を通じて、日々の生活に一定のリズムと潤いを提供します。

・生産活動

軽作業として、内職作業への取り組み。

・その他の活動

アート（絵・音楽）活動・リズム体操・散歩・余暇支援・地域行事参加等の取り組み。

「就労継続B型」

個別支援計画に基づき、

概要

印南町とその近隣市町村に在住する障害のある方の日中活動の場として、生産活動や創作活動を行います。

管理者1名・サービス管理責任者1名・生活支援員6名・職業指導員1名・看護師1名・調理員2名

職員体制

余暇支援・地域行事参加及び就労へ向けての活動等の取り組み。

・その他の活動

梅干しパック詰め・ペットボトル回収・その他依託作業等への取り組み。

・生産活動

訓練を提供します。